

次世代につなぐ少花粉の森整備事業

目的

「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルの循環のためには、本格的な利用期を迎えたスギ・ヒノキ人工林の伐採と、少花粉苗木による伐採跡地の再造林を促進する必要があるが、立木販売収入から再造林費用を賄える状況には至っておらず、森林所有者の費用負担が大きいことや林業の担い手不足などにより、林業適地であっても伐採・再造林が行われないケースが散見されます。

このため、伐採・再造林のコスト低減の取組を促進するとともに、着実に再造林が実施される仕組みづくりや、伐採等に伴う災害の未然防止の取組を支援することで、持続的な森林経営を推進します。

令和5年度事業概要

1 事業内容

- (1) 伐採・再造林低コスト化支援事業 9,000 千円
- ① ドローン資材運搬促進事業
苗木や獣害対策用資材等をドローンにより運搬する事業体に対し、経費の一部を助成
 - ② ドローン測量ガイドライン実証事業
ドローン測量により測量業務の省力化を図るため、本県の森林におけるドローン測量の課題等を洗い出し、ガイドラインの作成を行うための実証事業
 - ③ GNSS（衛星測位システム）測量推進事業
GNSS測量により測量業務の省力化を図るとともに、データを森林クラウド上に反映させて今後の森林整備促進に活用するため、GNSS測量により補助申請を行った事業体に対して経費の一部を助成
- (2) 伐採・再造林連携促進事業 220 千円
伐採後の再造林の確保と低コスト化の促進を図るため、伐採事業者と造林事業者をつなぐ仕組みづくり等を話し合う検討会を開催
- (3) 丈夫な森林作業道づくり推進事業 1,350 千円
- ① 作業道機能強化（おかやま元気な森づくり推進事業で計上）
 - ② 路網設計支援ソフト整備
効率的な路網整備の推進を目的とした、レーザ計測データDEMを活用し、効率的な路網設計を支援するソフトウェアの導入に対して支援
- (4) 期待される少花粉苗木の供給体制整備事業 5,000 千円
少花粉と特定母樹の特性を併せ持つ母樹の増殖技術に関する予備研究のため、必要なガラス温室の設計委託、先存取組県との技術交流等を実施



伐採・再造林の一貫作業

2 令和5年度 おかやま森づくり県民税充当額

15,570 千円